令和８年７月 22 日
令和８年９月２日修正
令和８年９月 19 日修正
（公財）日本スケート連盟

2026/27 スピードスケートジュニア国際競技会派遣選手選考基準

~~ジュニアワールドカップにおける実施種目など、詳細は国際スケート連盟（ISU）によって後日通知される（通知日未定）。これを受けて、本選考基準のうち ISU から通知されるルールに適合しない部分は変更される場合がある。~~

【決定の方法】
国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】
1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】
※ 各国際競技会の参加標準記録における対象競技会は、2025 年 7 月 1 日以降に開催された、ISU Competition & Event Regulations に基づき ISU 国際競技会カレンダーに掲載された全 ISU メンバーに参加資格が認められている競技会、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会及び全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。

【特記事項】
- 各国際競技会において ISU が設定した参加標準記録を所持している種目にのみ、出場することができる。
- 各国際競技会に選考された選手の中で、ISU の設定する参加標準記録を所持している選手は、種目出場枠に空きがあった場合には、対象競技会における成績の良い選手から順に追加エントリーをする場合がある。さらに、種目出場枠に空きがあった場合には、所持している記録の良い選手から順に追加エントリーする場合がある。
- ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- 本選考基準において、JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議による選考を定めている場合で、意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者は除く）の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。

1. ジュニアワールドカップ第 1 戦

第 1 戦ケベック大会（11/28~29、500m・1000m・1500m・3000m・MS・~~チーム種目~~ TP）

~~※　チーム種目は、TP、TS および MR のいずれか 1 つ実施予定~~

※　MS（マススタート）、TP（チームパシュート）~~、TS（チームスプリント）、MR（ミックスリレー）~~

【選考年齢区分】

ISU Competition & Event Regulations 9.2 に定める年齢要件に基づき、2007 年 7 月 1 日から 2011 年 6 月 30 日までに生まれた者

【派遣可能人数】

男女各最大 6 名

【選考基準】

対象競技会：第 33 回全日本スピードスケート距離別選手権大会（距離別選手権部門及びジュニア派遣選手選考部門）

(1)　男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、男女 3000m、男子 5000m の各種目で、選考年齢区分に該当する選手（以下、「該当選手」と略す）の両部門の全てのレースを対象としたタイムの最上位者を選考する。ただし、男子 5000m は、男子 3000m の ISU ジュニアワールドカップ第 1 戦参加標準記録を所持している選手を対象とする。

(2)　上記（1）項で選考された者以外の派遣選手は、対象競技会に出場している選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、マススタート及びチーム種目の選手構成とメダル獲得の可能性を勘案し、対象競技会の成績上位者の中から選考する。

(3)　上記（1）項に該当する選手において、シニア日本代表に選出されジュニアワールドカップに出場しない場合は、そのことにより空いた種目出場枠についても上記（2）項に従って選考する。

(4)　上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【ジュニアワールドカップ第 1 戦参加標準記録】

	女子	男子
500m	45,00	41,00
1000m	1.30,00	1.22,00
1500m	2.20,00	2.07,00
3000m	5.00,00	4.25,00

※　マススタート、~~チーム種目（~~チームパシュート~~、チームスプリント及びミックスリレー）~~にエントリーするためには、少なくとも 1 つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、~~これらのチーム種目については、~~男女それぞれの~~チーム種目~~チームパシュートにおいて最大 1 名~~は~~に限り、1000m において女子は 1.33,00、男子は 1.25,00 を達成して~~いなければならない。~~いれば、参加標準記録を達成していなくともエントリーすることができる。

~~※　上記の記録は 2025/26 シーズンのものであり、2026/27 シーズン（今シーズン）のものは ISU によって変更される場合がある。~~

2.　ジュニアワールドカップ第 3 戦

第 3 戦バゼルガ・ディ・ピネ大会（2/6~7、100m・500m・1000m・1500m・3000m・MS・~~チーム種目 TS~~）

~~※　チーム種目は、TP、TS および MR のいずれか 1 つ実施予定。~~

※TS（チームスプリント）

【選考年齢区分】

ISU Competition & Event Regulations 9.2 に定める年齢要件に基づき、2007 年 7 月 1 日から 2011 年 6 月 30 日までに生まれた者

【派遣可能人数】

男女各最大 6 名

【選考基準】

対象競技会：第 33 回全日本スピードスケート距離別選手権大会（距離別選手権部門）、ジュニアワールドカップ第 1 戦、第 94 回全日本スピードスケート選手権大会、第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会

(1)　後述の世界ジュニアスピードスケート選手権大会の選考基準に準ずる。

(2)　上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【ジュニアワールドカップ第 3 戦参加標準記録】

	女子	男子
500m	45,00	41,00
1000m	1.30,00	1.22,00
1500m	2.20,00	2.07,00
3000m	5.00,00	4.25,00

※　当該年度のジュニアワールドカップポイントを有していない者は、当該年度の世界ジュニアスピードスケート選手権大会にエントリーし、この参加標準記録を達成していなければならない。

※　マススタート、~~チーム種目（チームパシュート、~~チームスプリント~~及びミックスリレー）~~にエントリーするためには、少なくとも 1 つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、~~これらのチーム種目については、~~男女それぞれの~~チーム種目~~チームスプリントにおいて最大 1 名~~は~~に限り、1000m において女子は 1.33,00、男子は 1.25,00 を達成して~~いなければならない。~~いれば、参加標準記録を達成していなくともエントリーすることができる。

~~※　上記の記録は 2025/26 シーズンのものであり、2026/27 シーズン（今シーズン）のものは ISU によって変更される場合がある。~~

3.　世界ジュニアスピードスケート選手権大会

イタリア、バゼルガ・ディ・ピネ（2/12~14、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・TS・MR・総合）

※MR（ミックスリレー）

【選考年齢区分】

ISU Competition & Event Regulations 9.2 に定める年齢要件に基づき、2007 年 7 月 1 日から 2011 年 6 月 30 日までに生まれた者

【派遣可能人数】

男女各最大 6 名

【選考基準】

対象競技会：第 33 回全日本スピードスケート距離別選手権大会（距離別選手権部門）、ジュニアワールドカップ第 1 戦、第 94 回全日本スピードスケート選手権大会、第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会

(1) 該当選手の中から、以下の①～④に従い選考する。

① シニアワールドカップ第 1 戦～第 6 戦の日本代表として選考された選手は、その選考基準を満たして選考された種目（マススタート、チームパシュート、チームスプリントを除く）について、各種目最大 1 名まで選考する。各種目において、該当選手が複数いる場合には、該当選手各自の選考時点における当該年度最高記録（高地リンクでの記録を除く）を用いて日本スケート連盟が定める選考基準記録に対する記録達成率（後述）を算出し、記録達成率が最も高い者を選考する。

② 第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会における、男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000m の各種目最上位者を選考する。ただし、男子 5000m の選考については、選考時点において男子 3000m の世界ジュニアスピードスケート選手権大会参加標準記録を所持している選手を対象とする。なお、上記①項を満たして選手が選考された種目については、本項では選考しない。

③ 上記②項を満たして選考された選手と、当該種目における、当該年度の選考時点でのジュニアタイムランキング最上位者及びジュニアワールドカップ第 1 戦における 3 位以内の選手（マススタート、チームパシュート~~、チームスプリント、ミックスリレーを除く~~）とを比較し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、総合的な検討を加えて、入れ替える場合がある。

④ 残りの種目出場枠の範囲で、次のいずれかに該当する選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、チームパシュート、チームスプリント及びマススタートの構成とメダル獲得の可能性を勘案し、総合的に選考する。

ア 当該年度のシニアワールドカップ第 1 戦～第 6 戦日本代表選手

イ 選考時点でのジュニアタイムランキング各種目 3 位以内の選手

ウ ジュニアワールドカップ第 1 戦における各種目 3 位以内の選手（チームパシュート~~、チームスプリント、ミックスリレーを~~除く）

エ 第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会における男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000m の各種目 3 位以内の選手

オ 第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会における男女マススタート 1 位の選手

(2) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- 上記の選考基準を満たした選手（第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会（2027／長春）に出場する者を除く）は、第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会への出場を前提として選考されるものとする。ただし、怪我等のためやむを得ず第 50 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会に出場できなかった場合は、その詳細な理由や世界ジュニアスピードスケート選手権大会時の状態を見通しつつ、選考対象とする場合がある。
- 総合得点競技としての順位付けのためには、全ての種目に出場する必要がある。
- 記録達成率を用いる場合は、以下の算出及び比較方法に従うものとする。

【算出方法】

記録達成率(%)＝選考基準記録÷当該選手の記録×100

※　記録達成率の算出にあたり、小数第 4 位以下は切り捨てる。

【算出・比較例】

選考競技会において、男子 500m の記録が 35,40 の A 選手と、男子 1000m の記録が 1.10,10 の B 選手を比較する。A 選手と B 選手の記録達成率は、以下のとおりに算出・比較される。

A 選手の場合:男子 500m の選考基準記録 34,48÷35,40×100＝97.401%

B 選手の場合:男子 1000m の選考基準記録 67,95÷70,10×100＝96.932%

→　記録達成率は A 選手が B 選手に比べて高いため、A 選手が優位になる。

【世界ジュニアスピードスケート選手権大会参加標準記録】

	女子	男子
500m	42,50	38,50
1000m	1.25,00	1.16,00
1500m	2.12,00	1.58,00
3000m	4.45,00	
5000m		4.05,00(3000m)

※　総合種目にエントリーするためには、男女それぞれ、上記のすべての距離の参加標準記録を達成していなければならない。

~~※　上記の記録は 2025/26 シーズンのものであり、2026/27 シーズン(今シーズン)のものは ISU によって変更される場合がある。~~

※　マススタート、チーム種目(チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレー)にエントリーするためには、少なくとも 1 つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、これらのチーム種目については、男女それぞれのチーム種目において最大 1 名に限り、1000m において女子は 1.28,00、男子は 1.19,00、1500m において女子は 2.17,00、男子は 2.03,00 のいずれかを達成していれば、参加標準記録を達成していなくともエントリーすることができる。

【選考基準記録】

女子		男子	
500m	37,76	500m	34,48
1000m	1.14,90	1000m	1.07,95
1500m	1.54,79	1500m	1.44,50
3000m	4.01,15	5000m	6.11,63

※　各種目について、2024 年度及び 2025 年度ワールドカップ(カルガリー・ソルトレークシティー以外)の Division A における各種目のタイムランキングを作成し、3 位のタイムの平均値を選考基準記録とした。